

# Elisabeth EYE

OCTOBER  
2024  
Vol. 77



エリザベト音楽大学

音楽をとおして 私が変わり 世界を良くする人になる

I myself change through music to make the world better.



大学祭 (5月18・19日)



スピリチュアルコンサート (6月7日セシリアホール)  
ピアノ:小葛寛二



スピリチュアルコンサート (6月7日セシリアホール)  
テノール:升島唯博 ピアノ:小林知世



こどものためのミニオペラ「おもちゃイン・ザ・ワールド」(9月7日東広島芸術文化ホールくらら大ホール)



み心のミサ (6月7日世界平和記念聖堂)



エリザベト・コンサート in 防府 (5月30日防府市地域交流センターアスピラート)



エリザベト・コンサート in 大分 (9月16日iichiko総合文化センター音の泉ホール)

## 学生の奨学金、国際交流、 貢献活動の拡充

今年は暑い、と言われます。データで確認するために江波山気象館のホームページを見ると、広島市中区の最高気温が35℃以上の日(猛暑日)は、7~8月のみで本年は35日、昨年15日から倍増です。因みに私が広島で勤務を始めた1984年は0日、前後の年もほぼ同じ。扇風機だけで夏を過ごした記憶があります。猛暑日は平成(1989)に入ってから徐々に増え、「ストップ地球温暖化」が議論されるようになりました。

最近大学人が集まると、運営(経営)の問題、学生募集のことで熱くなります。東京の大学でも急激な入学者減少により、経営問題にまで発展しており、法人合併、新学部設立に進む例もあります。先日参加したカトリック大学の集まりでは、職員の危機意識は強く、改善策を検討するものの、教員による理解と検討が進まない、という嘆きも聞きました。

大学を評価する某雑誌には、本学は非常に高い位置にランキングされています。これは財務の数値の良さが強く反映されたことが理由で、その他の指数は決して芳しくはありません。しかし財務の安定・安心は、私たちの教育・研究活動を自由に深めることに大きく貢献しています。

経営がいいのであれば新学部を検討しないのですか、とよく質問されます。私は「作りません」と答えています。近隣の国公立大学を構成する学部・学科を考慮するならば、本学が新学部を設けても学生の奪い合いとなり、十分に入学者を集めることが困難なことは明らかです。

まだ余裕のある予算を活用して、学生の奨学金、国際交流そして貢献活動をさらに拡充し、AI・デジタル社会の音楽分野で、本学が着手していない領域の専門家を教授陣に招聘すること等に注力します。本学はグレゴリオ聖歌を含む伝統的なクラシック音楽の教授と研究はもちろんです。新時代の研究領域の研鑽を希望する国内外の学生にも応えてまいります。皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。



エリザベト音楽大学  
理事長・学長

川野 祐二

### ASEACCU Faculty and Staff Program

(東南・東アジアカトリック大学連盟総会)



マニラのセント・トマス大学長



参加した日本の大学の教職員

### AJCU-AP CEOs MEETING

(アジア・太平洋地区イエズス会高等教育機関学長会議)



イエズス会北京センターにて



## 济州国際管楽祭2024に エリザベト音楽大学ウインドアンサンブルが出演

私たちは8月8日から12日にかけて韓国の济州島にて行われた、济州国際管楽祭に参加しました。

海外で演奏する機会はなかなかないためとても楽しみだった反面、言葉や文化の違いなどの不安がありましたが、本学客員教授のヨ・インホ先生や济州ウインドアンサンブル指揮者のイム・デフン先生をはじめとした現地の先生方、エキストラや通訳など多くの方のご協力のもと、無事2度の演奏会を成功させることができました。特に現地のトランペット奏者イム・スング先生をソリストとしてお迎えしての「ラプソディー・イン・ブルー」は、合わせる時間が限られた中で、本番でそれぞれがどう合わせていくか考えながら演奏でき、今後の演奏活動においてとてもいい経験になったと感じました。また、他の国の出演団体の演奏を聴いたり、観光をとおして文化を体験したりと、充実した5日間を過ごしました。

たくさんの方のご協力に感謝しつつ、この経験を今後の演奏活動に活かしながらこれからも精進していきたいと思えます。

インスペクター

管弦打楽器専攻 3年 國益凜夏 藤岡美鈴 佐々木智朗



8/8 開幕公演会場にて



8/10 海の前野の野外ステージにて本番



8/11 イム・スング先生をお迎えして演奏

## ASEACCU (東南・東アジアカトリック大学連盟)

### 第30回総会及び学生会議2024

8月21日～23日に第30回ASEACCU総会及び学生会議がオーストラリアン・カトリック大学（ノースシドニー校）で開催されました。“What makes a Catholic University Catholic? Expressing and Integrating Identity and Mission”をテーマにオーストラリアの原住民アボリジニの方のスピーチや環境保全に関する講義を受け、その後グループに分かれて、国際的な問題について話し合いました。その中で、サービスマーケティングに関する報告は特に印象に残りました。

本学でのサービスマーケティングは、ホームレスの人たちへの炊き出しや演奏などを行っていますが、他大学の学生も幅広く活動していることを知り、驚きました。こうした「他者に奉仕し、ともに生きる」という精神がカトリックの大切な教えであることを改めて実感しました。今回の参加で私たちは、カトリック大学の学生としてどのような心構えを持つべきかを考えさせられました。

本学で行われている地域貢献、奉仕活動などは全てカトリックの精神に基づいたアクションです。私たちもこの教えに倣って、活動を行いたいと考えました。この経験を活かし、自分の国のことだけでなく、他国の問題も考えた上での行動を起していきたいと思えます。



声楽専攻 2年 辻村百蘭 管弦打楽器専攻 2年 松前こゆめ



アボリジニの伝統模様を体験



講義の合間のティータイム



学生による各国の出し物

# 音楽と絵画で紡ぐ Akiko's Sound



ザビエルホールにて初演



明子さんの日記を朗読



終演後のレストハウスにて記念撮影

## ～ 被爆ピアノが奏でる19歳の軌跡 ～

9月14日・15日に、エリザベト音楽大学ザビエルホールと、広島市平和記念公園レストハウスにて「音楽と絵画で紡ぐAkiko's Sound～被爆ピアノが奏でる19歳の軌跡～」を開催いたしました。

きっかけは昨年8月にフィリピンで開催されたASEACCU国際学生会議に参加したことです。同年代の学生たちが平和について自分の考えをしっかりと持っていることに刺激を受け、「広島で音楽を学ぶ私たちにできることは何か」を考えるようになりました。

ご縁があり、19歳で被爆死した河本明子さんのピアノと日記に出会いました。ごく普通の女の子だった明子さんの生涯を伝え、「平和は本当に尊いものである」ということを今一度考えてもらうべく、音楽と絵画を伴った朗読作品「二十歳になったら」をオリジナルで制作、上演いたしました。

今回の上演をとおして、「伝える」ための手段としての音楽の力の大きさを実感しています。発案から上演に至るまで、一般社団法人HOPEプロジェクトの皆さまをはじめ多くの方々にお力添えいただきました。ありがとうございました。

声楽専攻 3年 村田菜 鍵盤楽器専攻 3年 汲地紗弥



より

## Medren 第52回中世・ルネサンス音楽学会

2024年7月に「第52回中世・ルネサンス音楽学会」(グラナダ大学)に参加し、グレゴリオ聖歌の研究発表「The musical emphasis of Graduale」(科研費番号24K03411 課題名「ネウマ譜に見られる教父神学の影響分析」)を行いました。

学会には、アメリカやヨーロッパから世界の最先端を担う研究者たちが一堂に会しました。私の発表は、ウプサラ大学(2022)とミュンヘン大学(2023)での発表を踏まえたものですが、中世音楽理論研究第一人者のアトキンソン教授をはじめ、多くの方から高い評価を得ました。

研究を取り巻く環境は年々厳しさを増していますが、引き続き精進してまいります。

佐々木悠(准教授)



学会会場にて

## 第36回 ISME国際音楽教育学会

第36回ISME 国際音楽教育学会で、音楽文化学科教員3名と大学院生2名及び本学大学院修了生1名が研究発表を行いました。(2024年7月26日・30日、フィンランド)

口頭発表：壬生千恵子(教授)、フランシスコ・アント(准教授)、前田由樹(教授)

[Community Music Activity(CMA)]“University's Contribution to Communities and Well-being: Activities of Service-Learning Class at Elisabeth University of Music”/楊卿(現四川師範大学講師)“The First China's Research Centre for Music Performance Science and Musicians' Medicine”

ポスター発表：黄夕珈(博士後期課程)“Fundamental Study for the Introduction of Creative Music Making”/末政優衣(博士後期課程)“Composer Makiko Kinoshita:her popularity in Japanese Music Education Field and 3 Bias Analysis”



発表の様子(左から前田先生、壬生先生、アント先生)





# キャンパスニュース

## 福岡女学院中学校・高等学校と教育提携協定締結

2024年6月26日、福岡女学院中学校・高等学校(福岡市南区)にて、教育提携協定の調印式が行われました。本協定は、相互の交流体制を構築することにより、高等教育の活性化と中学生及び高校生の学習機会の拡充を図り、音楽教育の振興に努めることを目的としています。様々な交流をとおして、中高大連携を進めてまいります。



## 駐日ベルギー王国大使が表敬訪問

8月7日、アントワン・エヴラー駐日ベルギー王国大使が本学を訪問され、学内及び隣接する世界平和記念聖堂(カトリック幟町教会)を見学されました。

エヴラー大使は前日6日の平和記念式典に参列し、翌日本学を訪問。

エントランスホールでは学生による国歌など歓迎の歌を披露しました。またセシリアホールでは、本学教員による歓迎演奏を鑑賞いただきました。

ベルギーは本学の創立者で初代学長のエルネスト・ゴーセンス神父の出身地であり、大学名もベルギー王国のエリザベト王妃が後援者となられたことに由来するなど、縁の深い国です。



### プログラム

《歓迎の歌》ベルギー国歌  
Ave Maria

《歓迎演奏会》

J. -N. レメンス:プレリュード

F. ペーターズ:Ave Maria

C. フランク:前奏曲、フーガと変奏曲

J. S. バッハ:フーガ BWV577

ベルギー国歌「ブラバントの歌」による即興



## 2023(令和5)年度決算の概要

[表1] 事業活動収支計算書

収支のバランス良好

(単位:円)

科目	予算	決算	差異(予算-決算)
学生生徒等納付金	435,300,000	435,478,500	△178,500
経常費等補助金	98,500,000	105,074,243	△6,574,243
その他	79,876,400	76,840,048	3,036,352
教育活動収入計	613,676,400	617,392,791	△3,716,391
人件費	488,683,550	481,687,709	6,995,841
教育研究経費	467,490,700	414,497,905	52,992,795
管理経費	140,909,600	126,400,451	14,509,149
教育活動支出計	1,097,083,850	1,022,586,065	74,497,785
A 教育活動収支差額	△483,407,450	△405,193,274	△78,214,176
教育活動外収入計	667,600,000	669,062,329	△1,462,329
教育活動外支出計	300,000	290,844	9,156
B 教育活動外収支差額	667,300,000	668,771,485	△1,471,485
C=A+B 経常収支差額	183,892,550	263,578,211	△79,685,661
D 特別収支差額	187,800,000	232,404,021	44,604,021
E 予備費	36,000,000	36,000,000	0
C+D+E 基本金組入前当年度収支差額	335,692,550	495,982,232	△160,289,682
基本金組入額合計	△270,000,000	△253,698,388	△16,301,612
当年度収支差額	65,692,550	242,283,844	△176,591,294
前年度繰越収支差額	1,541,272,049	1,541,272,049	0
翌年度繰越収支差額	1,606,964,599	1,783,555,893	△176,591,294

(参考)

事業活動収入計	1,489,776,400	1,541,466,984	△51,690,584
事業活動支出計	1,154,083,850	1,045,484,752	108,599,098

[表2] 貸借対照表(B/S)

左右でバランスしている

(単位:円)

科目	2024.3.31	科目	2024.3.31
① 固定資産	14,840,608,130	固定負債	318,855,625
有形固定資産	3,092,824,782	長期借入金	77,517,400
土地	441,820,561	長期未払金	0
建物	2,131,145,729	退職給与引当金	241,338,225
その他の有形固定資産	519,858,492	流動負債	109,875,882
特定資産(基本金など引当資産)	11,284,185,802	短期借入金	44,996,400
その他の固定資産	463,597,546	前受金ほか	64,879,482
有価証券	461,881,678	負債の部合計	428,731,507
その他固定資産	1,715,868	基本金	14,307,355,690
② 流動資産	1,679,034,960	第3号基本金ほか	14,307,355,690
現金預金	103,506,647	繰越収支差額	1,783,555,893
その他流動資産	1,575,528,313	純資産の部合計	16,090,911,583
①+② 資産の部合計	16,519,643,090	負債及び純資産の部合計	16,519,643,090

[表1] 事業活動収支計算書...教育活動収支差額(符号△)は、支出が収入を上回り△4億5千万円となりました。予算を78百万円上回りました。収入が6億17百万円と予算を4百万円上回り、支出が10億22百万円と予算を74百万円下回ったことが要因です。  
教育活動外収支差額(符号B)は、予算を1百万円上回り6億69百万円となりました。これらにより経常収支差額(符号C)は、2億64百万円と予算を79百万円上回り、さらに特別収支差額(符号D)2億32百万円を合算した基本金組入前当年度収支差額(C+D-E)は、予算を160百万円上回って4億96百万円となりました。基本金へ2億54百万円組入れ、当年度収支差額は2億42百万円となり、前年度繰越収支差額15億41百万円に加算して、翌年度繰越収支差額は17億83百万円となりました。基本金組入前当年度収支差額(4億96百万円)が示すように、2023年度決算も前年度決算に引き続き収支のバランスは良好となっています。

[表2] 貸借対照表...学校法人の総資産は165億19百万円となり、2022年度末比、4億93百万円増加しています。⑤基本金143億7百万円と⑥繰越収支差額17億83百万円が本学の純資産160億90百万円となります。第2号基本金等への積立により、純資産が増加しています。2022年度に引き続き財務基盤の強化が実現しました。

## エリザベト音楽大学後援会

### 会員募集

エリザベト音楽大学後援会は、在学生の音楽研究活動を支援することを目的として、在学生保証人、卒業生、教職員そして後援会の趣旨に賛同して下さる方々により組織された団体です。在学生に対して次のような支援を行っています。

- 演奏活動支援 ○コンクール参加支援 ○セミナー参加支援 ○演奏会出演支援
- 美術館キャンパスメンバーズ(広島県立美術館、ひろしま美術館)

この機会に、ご入会についてご検討くださるようお願い申し上げます。ご入会いただいた場合、本学の主催演奏会にご招待いたします。また、お納めいただきました会費は、税法上の寄附金控除の対象となります。

郵便振替口座 01360-0-67324 加入者名 エリザベト音楽大学後援会

●お問い合わせ エリザベト音楽大学後援会事務局(総務部内) Tel082-221-0918(代)

# Concert Information

## 第83回 定期演奏会

10/26

土

F. ブーランク:バレエ組曲「牝鹿」  
F. メンデルスゾーン:ピアノ協奏曲 第1番 ト短調 作品25  
P. チャイコフスキー:交響曲 第6番 ロ短調 作品74「悲愴」

指揮:井田勝大  
ピアノ:松尾真菜実(大学院修士課程2年)  
演奏:エリザベト音楽大学交響楽団



井田 勝大



エリザベト音楽大学交響楽団

セシリアホール

[開演]  
15:00

料金

1,000円

## チャリティークリスマスコンサート

12/7

土

三宅悠太:Ave Maria(本学合唱委嘱作品・世界初演)  
寺沢希(指揮)/エリザベト音楽大学声楽専攻生(合唱)

C. オルフ:カルミナ・ブラーナ  
柴田真郁(指揮)/櫻田亮(テノール) ほか  
エリザベト音楽大学合唱団・交響楽団 ほか



三宅 悠太



柴田 真郁



櫻田 亮

セシリアホール

[開演]  
15:00

料金

1,000円

11/4

月・祝

ギリアード・ミシヨリ客員教授  
ピアノレクチャー



ザビエルホール

[開演] 17:00

料金 無料

12/13

金

ヤン・イラーチェク・フォン・アルニン客員教授  
コンサートシリーズ  
ピアノリサイタル



セシリアホール

[開演] 18:45

料金 1,000円

2025

無料

3/6 木 春季大学院新人演奏会

[開演] 18:00予定 セシリアホール

3/9 日 卒業研究発表・演奏会

(音楽文化学科)  
[開演] 10:30予定 ザビエルホール

卒業演奏会

(演奏学科・卒業生全員による合唱)  
[開演] 14:00予定 セシリアホール

2025  
4/5

土

エリザベト音楽大学 協演シリーズ Vol.4 広島交響楽団

協演シリーズ Vol.4

セシリアホール

[開演] 17:00

料金

[前売り]2,000円

[当日]2,500円

※2025年2月5日より  
販売開始予定

L. v. ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 作品73 『皇帝』  
W. A. モーツァルト:「皆は恋の喜びを感じている」(モノスタス)オペラ『魔笛』より  
R. ワーグナー:「我が騎士様!マイスター・ジンガーという肩書きは~あなたはやっとなマイスターに近づくのだ」  
オペラ『ニュルンベルクのマイスター・ジンガー』より ほか  
H. トマジ:トロンボーン協奏曲

ピアノ:中谷政文 テノール:升島唯博 トロンボーン:若狭和良  
指揮:栗辻聡 管弦楽:広島交響楽団



栗辻 聡



中谷 政文



升島 唯博



若狭 和良

[お問い合わせ・チケット取り扱い] 学事部演奏活動 Tel 082-225-8004

入場無料

▶ 受験生のための声楽講座 ~受験課題のドイツ歌曲を中心に~

[開催日] 2024年12月24日(火) 15:30~ [会場] ザビエルホール [講師] 升島 唯博(専任講師)

▶ 東広島市制施行50周年記念コンサート

[開催日] 2025年 1月19日(日) [開演]14:00 [会場] 東広島芸術文化ホールくらら 小ホール

▶ スプリングフェスティバル AM中国ユース音楽コンクールに向けたピアノ講座&教員による座談会/PMオペラ<ヘンゼルとグレーテル>

[開催日] 2025年 3月15日(土)・16日(日) [会場] エリザベト音楽大学

[お問い合わせ] 学事部企画・広報 Tel 082-225-8009

最新情報は本学ホームページをご確認ください。



[発行] エリザベト音楽大学  
〒730-0016 広島市中区鞆町4-15  
Tel 082-221-0918(代) Fax 082-221-0947  
https://www.eum.ac.jp/  
E-mail kikaku01@eum.ac.jp



エリザベト音楽大学  
ホームページ



エリザベト音楽大学  
高校生応援サイト



マイナビ進学 キャリタス進学

編集 学事部企画・広報 2024年10月1日発行